

由布市告示第15号

令和6年第1回由布市議会臨時会を次のとおり招集する

令和6年2月6日

由布市長 相馬 尊重

1 期 日 令和6年2月13日火曜日

2 場 所 由布市議会議事堂

○開会日に応招した議員

志賀 輝和君	高田 龍也君
坂本 光広君	吉村 益則君
田中 廣幸君	加藤 裕三君
平松恵美男君	太田洋一郎君
加藤 幸雄君	鷺野 弘一君
長谷川建策君	佐藤 郁夫君
瀧野けさ子君	佐藤 人巳君
田中真理子君	佐藤 孝昭君
甲斐 裕一君	

○応招しなかった議員

首藤 善友君

令和6年 第1回(臨時)由布市議会会議録(第1日)

令和6年2月13日(火曜日)

議事日程(第1号)

令和6年2月13日 午前10時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第1号 由布市使用料及び手数料条例の一部改正について
日程第4 議案第2号 令和5年度由布市一般会計補正予算(第10号)
-

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
日程第2 会期の決定
日程第3 議案第1号 由布市使用料及び手数料条例の一部改正について
日程第4 議案第2号 令和5年度由布市一般会計補正予算(第10号)
-

出席議員(17名)

- | | |
|------------|------------|
| 2番 志賀 輝和君 | 3番 高田 龍也君 |
| 4番 坂本 光広君 | 5番 吉村 益則君 |
| 6番 田中 廣幸君 | 7番 加藤 裕三君 |
| 8番 平松恵美男君 | 9番 太田洋一郎君 |
| 10番 加藤 幸雄君 | 11番 鷺野 弘一君 |
| 12番 長谷川建策君 | 13番 佐藤 郁夫君 |
| 14番 瀧野けさ子君 | 15番 佐藤 人已君 |
| 16番 田中真理子君 | 17番 佐藤 孝昭君 |
| 18番 甲斐 裕一君 | |
-

欠席議員(1名)

- 1番 首藤 善友君
-

欠 員(なし)

事務局出席職員職氏名

局長 馬見塚美由紀君	書記 松本 英美君
書記 中島 進君	書記 生野 洋平君

説明のため出席した者の職氏名

市長	相馬 尊重君	副市長	小石 英毅君
教育長	橋本 洋一君	総務課長	庄 忠義君
財政課長	大久保 暁君	総合政策課長	一法師良市君
市民課長兼マイナンバーカード推進室長			吉野真由美君
会計管理者	佐藤 幸洋君	建設課長	三ヶ尻郁夫君
商工観光課長	古長 誠之君	環境課長	田代 由理君
福祉事務所長兼福祉課長			武田 恭子君
挾間振興局長兼地域振興課長			小野嘉代子君
庄内振興局長兼地域振興課長			佐藤 俊吾君
湯布院振興局長兼地域振興課長			後藤 睦文君
教育次長兼教育総務課長			日野 正美君
消防長	大嶋 陽一君		

午前10時00分開会

○議長（甲斐 裕一君） 皆さん、おはようございます。これより、令和6年第1回由布市議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員数は17名です。首藤善友議員から欠席届が出ています。定足数に達していますので、本日の会議を開きます。

執行部より、市長、副市長、教育長及び関係課長の出席を求めています。

本日の議事日程は、お手元に配付の議事日程第1号により行います。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（甲斐 裕一君） まず、日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、7番、加藤裕三君、8番、平松惠美男君の2名を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（甲斐 裕一君） 次に、日程第2、会期の決定についてを議題とします。

本臨時会の会期は、本日1日限りとしたいと思います。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 裕一君） 異議なしと認めます。よって、会期は本日1日限りと決定いたしました。

日程第3. 議案第1号

日程第4. 議案第2号

○議長（甲斐 裕一君） 次に、本臨時会に提出されました日程第3、議案第1号及び日程第4、議案第2号の議案2件について一括して上程いたします。

市長に提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（相馬 尊重君） 皆様、おはようございます。令和6年第1回臨時議会を招集いたしましたところ、議員各位には、御多忙の中、御出席をいただき誠にありがとうございます。

それでは、上程されました付議事件につきまして、一括して提案理由を御説明いたします。

本臨時会で御審議をお願いいたします案件は、議案2件でございます。

初めに、議案第1号、由布市使用料及び手数料条例の一部改正については、令和6年3月1日施行の戸籍法の一部を改正する法律において、新たに戸籍謄本等の広域交付及び戸籍電子証明書提供用識別符号の発行事務が追加されたことから、その手数料を定めるための所要の改正を行うものでございます。

次に、議案第2号、令和5年度由布市一般会計補正予算（第10号）は、歳入歳出にそれぞれ2億286万4,000円を追加し、予算の総額を229億3,582万2,000円にお願いするものでございます。

不安定な世界情勢や円安の進行などを要因として、エネルギー価格の高騰をはじめ、食料品や資材・原材料などの物価の高騰が続き、市民生活に大きな影響を及ぼしていると認識しております。

このような状況を踏まえ、国から配分のありました物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民の皆様幅広く支援が行き渡る対策を含め、速やかな支援策を講じることができるよう、本臨時会に補正予算案を提出させていただいたところです。

具体的な内容といたしましては、1世帯当たり2セット、60枚のごみ袋を配付し、家計を支援するものでございます。

また、現在、実施しています低所得者支援に加え、個人住民税の定額減税の対象とならない住民税均等割のみ課税される世帯に対して、1世帯当たり10万円を給付するものでございます。

加えて、低所得者世帯のうち子育て世帯への加算として、18歳以下の児童を対象として一人当たり5万円の追加給付を行うものでございます。

以上で、私からの説明を終わります。

詳細につきましては、担当課長より説明をいたしますので、何とぞ慎重なる御審議の上、御賛同いただきますようお願いをいたします。

○議長（甲斐 裕一君） まず、議案第1号について詳細説明を求めます。市民課長。

○市民課長兼マイナンバーカード推進室長（吉野真由美君） 市民課長です。議案第1号について御説明いたします。

議案第1号、由布市使用料及び手数料条例の一部改正について。

由布市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例を別記のように定める。

令和6年2月13日提出、由布市長。

今回の条例改正は、戸籍法の一部を改正する法律の施行に当たり、新たに本籍地以外での戸籍等の取得及び行政機関などでの戸籍等、関係書類の省略を目的とした電子証明書提供用識別符号の発行事務が追加されることになり、この手数料を令和5年12月6日に公布されました地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に準じて条例の一部改正を行うものでございます。

裏面を御覧ください。

由布市使用料及び手数料条例の別表第3に、戸籍及び除かれた戸籍の全部事項証明書、個人事項証明書若しくは一部事項証明書という表記を、戸籍証明書及び除籍証明書に改め、戸籍及び除籍電子証明書提供用識別符号の発行事務の2項を追加することが主なものでございます。

施行期日は令和6年3月1日となっております。

次のページに、新旧対照表を添付しておりますので、御確認ください。

以上で、説明を終わります。

○議長（甲斐 裕一君） 次に、議案第2号について詳細説明を求めます。財政課長。

○財政課長（大久保 暁君） 財政課長です。議案第2号について詳細説明をいたします。

議案第2号、令和5年度由布市一般会計補正予算（第10号）。

令和5年度由布市の一般会計補正予算（第10号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億286万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ229億3,582万2,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第1表歳入歳出予算補正による。

第2条、繰越明許費の追加は、第2表、繰越明許費補正による。

令和6年2月13日提出、由布市長。

1 ページをお開きください。

第1表、歳入歳出予算補正です。

2 ページにかけて、歳入歳出の款項ごとに補正額を記載しております。

3 ページをお願いします。

第2表、繰越明許費補正です。

今回の補正に係る2件の明許繰越しの追加をお願いしております。

次に、4 ページから補正予算事項別明細書となっております。

7 ページをお願いいたします。

歳入でございます。

16款2項1目2節の総務費補助金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減額は、交付金の名称が物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金と変更になったことから組み替え、減額するものです。

次に、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は、先の組替え分に加え、住民税非課税世帯給付事業の追加分及び、今回計上しています2事業に係る交付金でございます。

この充当先につきましては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に係る事業となりますが、今後、事業費が確定した段階で、一般財源との組替えをする予定としております。

20款1項1目2節基金繰入金の財政調整基金は、本補正の収支の均衡を図るため、財政調整基金からの繰入れを約5,900万円を減額をしております。

次に、9ページからは歳出となります。

9ページのほうをお願いいたします。

3款1項1目区分1、物価高騰緊急対応事業（給付金）は、現在、実施しております低所得者支援に加え、住民税均等割のみ課税されている世帯への給付として1世帯当たり10万円を支援するものでございます。加えて、低所得者世帯のうち、子育て世帯への加算として18歳以下の児童を対象として、1人当たり5万円の追加支援を物価高騰対策として臨時給付金を計上しております。

また、この事業に係る事務経費を加え、総額1億8,067万9,000円を計上しております。

次に、4款2項1目区分1、物価高騰緊急対応事業（環境）は、各世帯への負担増を踏まえ、市民に広く支援が行き渡る施策として、1世帯当たり2セット、60枚のごみ袋大を配付する物価高騰対策として計上しております。

また、この事業に係る事務経費を加え、総額2,218万5,000円を計上しております。

詳細説明は以上となります。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（甲斐 裕一君） 詳細説明が終わりました。

お諮りします。ただいま上程され、議題となっております各議案については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略し、全員による審議にしたいと思いますが、これに御異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 裕一君） 異議なしと認めます。よって、委員会付託を省略し、全員による審議とすることに決定しました。

これより審議に入ります。

まず、議案第1号、由布市使用料及び手数料条例の一部改正についてを議題として質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 裕一君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 裕一君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第1号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員16名中起立16名〕

○議長（甲斐 裕一君） 起立多数です。よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

次に、議案第2号、令和5年度由布市一般会計補正予算（第10号）を議題として質疑を行います。

まず、歳入について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 裕一君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、歳出について質疑はありませんか。3番、高田龍也君。

○議員（3番 高田 龍也君） おはようございます。3番、高田龍也です。歳出についてお聞きしたいと思います。

すいません、ちょっとコロナにかかっていたんで、喉の調子悪く、声があんまり出ませんが、お聞き苦しいと思いますが、よろしく願いいたします。

すいません、環境課に関するところなんですけど、物価高騰緊急支援事業、これ先ほど御説明の中で、1世帯にごみ袋、2ロールをお渡しするということだと思んですが、由布市内の世帯数と1世帯にかかる費用を教えてくださいたいんですが。

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。

○環境課長（田代 由理君） 環境課長です。お答えします。

1世帯に配る費用、ごみ袋だけの費用でよろしいんですか。今回、ごみ袋を用意するという
ことで作製料といたしまして1,478万4,000円でございます。1世帯……すいません、世帯
数は、1万6,000世帯を予定しております。

以上です。（発言する者あり）

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。

○環境課長（田代 由理君） すみません、大変失礼いたしました。1世帯当たり1本が大が
750円でありますので1,500円でございます。失礼いたしました。

○議長（甲斐 裕一君） 次に、3番、高田龍也君。

○議員（3番 高田 龍也君） すみません、由布市内に1万6,000世帯いらっしゃって、
1世帯に約1,500円の緊急対策事業ということでお配りするということなんですが、そう
なるとかかる経費が印刷したりとか、あと配ったりとか、どのようにするのかちゅうところが今
の説明では分からないんですが。これ2本そのまま配ったりするのか、それとも販売店の方々に協
力していただいて、市民の皆さんにそこに行ってもらうのか。おむつクーポン券みたいなこと
なのか、どっちなのかなあと。そういうちょっと説明をいただかないと、経費の内容がちょ
っと分からないので、今一度、詳しく説明していただけると助かります。

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。

○環境課長（田代 由理君） お答えします。

今回は、クーポン券を2枚、各世帯のほうにお送りします。クーポン券1枚につきごみ袋大
1本交換していただきまして、交換時期といたしましては、令和6年の5月1日から令和6年の
12月31日。2本目が令和6年の9月1日から令和6年の12月31日となっております。

この一度に2本お配りしないのは、作製上におきまして、店舗のほうにごみ袋が欠品が生じな
いために期間をずらして配付ということにしております。

このクーポン券を世帯のほうにお送りしまして、それぞれのお店の協力店舗にて1本ずつ交換
していただくというふうに考えております。

以上です。

○議長（甲斐 裕一君） 3番、高田龍也君。

○議員（3番 高田 龍也君） すみません、全体的な質問ということでちょっと聞かせていただ
きたいんですが、今回、ごみ袋をお渡しするというのはありがたい話かなあと。私た
ち世代、40代、50代の世代だと大型の45リットルのごみ袋をもらえるのはありがたいんで
すけども、これ由布市内の全世帯ということになれば、お年寄りとかも入れて45リットルだっ

たら大きすぎるよねという話もあるのかなあと思うんですけど、その辺も吟味されたのかなあちゅうところと、そもそも、何でゴミ袋なんかと思って。これを配る経費等もかかってくるんで、そういうことをせずに、由布市内の水道料金等も今後上がってくるということなので、水道料金を一括値下げするとかいうふうにすれば、この通信費とか、そういうような経費もかからず、丸っとそのまま水道料金を全世帯に下げることが可能やったんやないかなあとかちょっと思ったんですけども、そういうこととか検討された上でのお話ちゅうの、ちょっといま一度聞かせていただませんか。

○議長（甲斐 裕一君） 財政課長。

○財政課長（大久保 暁君） 財政課長です。お答えをいたします。

まず考えたのは、広く全世代に行き渡るものというふうな形で、ゴミ袋というふうな形の部分が検討いたしました。

水道料金等もあるんですけども、水道料金の方にしますとやはりメーターごとの大きさとか、それとかやっぱり事業者の方も多く加入しておりますし、やはり水道料金自体は、まだまだ今、昨年のほうで議会の議決を頂きまして水道料金の改定というふうな形をさせていただいておりますが、その料金の中でもやはり水道事業というのは、まだ現実としては黒字化にはなっていないので、赤字にというか、これからの部分を踏まえながら、やはり投資をしていかないと悪いと思っております。そういう部分を踏まえながら、やはり世帯に広く行き渡る部分として、一つの施策として今回を挙げた次第というふうな形になります。

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。ゴミ袋の大きさの検討について答弁をお願いします。

○環境課長（田代 由理君） 環境課長です。お答えします。

ゴミ袋の大きさが一番高額ということもありまして、経済的負担の軽減ということで、大2本。先ほど議員がおっしゃられたように、高齢者の方であれば大を使わないのではないかと御指摘もありましたが、環境課のほうにもお問合せが何件かありまして、夏場の時期に庭の草を刈ったときに、どう処理したらいいかというような御質問等もありまして、そういったときには、今回、配るようなこの大きなゴミ袋を使っていただいて、使用していただければと思いますし、ゴミ袋がすぐ痛むものではないのでうまく御家族等の方で御利用していただければと思います。

○議長（甲斐 裕一君） ほかに。4番、坂本光広君。

○議員（4番 坂本 光広君） 今、結局、今回、各家庭に配るということなので、ゴミそれ自体出すことは無料ですから、逆に増えたりしないかなというのが心配なので。実際のところ、今回、令和9年に、合同のゴミ処理場ができる。それでやっぱり減量化というのが必要だというのがあると思っていますんで、せっかく配るのでしたら、そういう内容のものを入れていただけないものなんでしょうか。この費用の中で入れられるかどうか、そこら辺ちょっとお聞きしたいと思えます。

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。

○環境課長（田代 由理君） 環境課長です。お答えします。

クーポン券を同封する中に、今回、今、おっしゃられたようにごみの減量化についてのリーフレット等も配付して、今回、ごみ袋を配付するというので、改めて市民の皆さんに分別の意識を持っていただきたいということで、リーフレットを入れるように考えております。

以上です。

○議長（甲斐 裕一君） ほかに。14番、淵野けさ子さん。

○議員（14番 淵野けさ子君） おはようございます。早速、こういう市民全体に満遍なく行き渡るということで、ごみ袋をこうして配っていただけるということは、大変ありがたいことだというふうに思っております。

特に主婦は、ごみ袋、たかがごみ袋と思うかもしれませんが、本当、貴重なごみ袋でございますので、大変喜ばれるというふうに、私は感じております。

そこで、課長にお伺いしたいんですけども、先ほど高田議員が心配しておられましたように、高齢者とかは、小さな袋をやっぱり買う人がいるんですけども、このクーポン券で小さな袋も買えるという形でいいんでしょうかね。

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。

○環境課長（田代 由理君） 環境課長です。お答えします。

すいません、今回のクーポン券に関しては、大が1本なので、クーポン券2枚をお配りしますので、大が2本という形になります。

以上です。

○議長（甲斐 裕一君） 淵野けさ子さん。

○議員（14番 淵野けさ子君） ということは、小は少し安いんですけども。これ以上、高ければそれでなんですけども、安いので、安い部分は、そういう融通とか、利かないんでしょうかね。

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。

○環境課長（田代 由理君） お答えします。

ごみ袋の今、実際に大、小、特小とあるんですが、今回は、大だけにしておりまして、すみません、小とか、市民の皆さんに合わせて小を選んだり、特小を選んだりということはできずに、もう今回は、大2本ということになっております。

以上です。

○議長（甲斐 裕一君） いいですかね。ほかに質疑は。16番、田中真理子さん。

○議員（16番 田中真理子君） ちょっとお伺いいたしますが、これどういうふうに啓発するんですかね。今ここ決まったので、配付が1本目が受け取れるのが6年の5月1日から6年の

12月31日と2本目が6年の9月1日から6年の12月31日まで。これは市報か何かで載せるんですかね。それとも自治区回覧の後に、皆様にそういうふうに配るようになるのか。皆様の周知はどういうふうになさるんですか。

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。

○環境課長（田代 由理君） お答えします。

このクーポン券は、まず世帯主宛てに由布市の皆さんにお送りします。その後、市報、ホームページ等にもアップをしまして、ゆふいんラヂオ等でも周知をして、この期間内に忘れないように交換してくださいということは周知していきます。

以上です。

○議長（甲斐 裕一君） 田中真理子さん。

○議員（16番 田中真理子君） そうすると、その辺が配ってきたときに、あっ、こういうのがもらえるんだなというのが分かるのが初めてなんですかね。その家の人、世帯は、そういうことになるんですか。もう事前にももらえるんだというんじゃないで、それが来た時点で、こういうことをしてくれたんだということが分かるようになってるんですか。

○議長（甲斐 裕一君） 環境課長。

○環境課長（田代 由理君） お答えします。

これを届いたときにという形になるんですが、発送時点が、交換が5月となっておりますので、その前に、事前にはお知らせを市報等でいたします。

○議長（甲斐 裕一君） 田中真理子さん。

○議員（16番 田中真理子君） 自治回覧をする必要はないかもしれませんが、こういったものを今回のこれで配付しますよというようなことも一つは手があるのかなあと思ったんですね。もらえることはありがたいなあと思うんですけど、そのほうが皆さん安心して内容が分かるんじゃないかなあと思うんですけど、その辺は検討していただきたい。

それともう1つ、この物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金ですけど、これはその市にどういうふうに使ってもいいということで来るんですかね。総合政策課としては、今回、環境と給付金のほうにあれしているんですけど、こういった仕方は国のほうからこういうふうに使いなさいとかいうあれがあるんですかね。

○議長（甲斐 裕一君） 財政課長。

○財政課長（大久保 暁君） 財政課長です。お答えをします。

国からの配分された物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のほうにつきましては、まずは、一つは低所得者世帯支援枠というふうな形で非課税世帯等の支援の部分、そして一体給付というふうな形で、今回、出しております住民税非課税世帯のみの世帯とかいうふうな形の部分で課税

されている世帯と住民税均等割だけの世帯とか、課税されている、所得割まで出ている世帯とかいう部分の世帯を踏まえての一体給付の部分と、それと後は、推奨枠というふうな形で、ごみ袋のような形で自治体が独自に物価高騰対応を検討していくというふうな形の3つの交付金の使い方というふうな形で金額を示されながら、その中でやっているような形になっております。

以上です。

○議長（甲斐 裕一君） ほかに。総務課長。

○総務課長（庄 忠義君） 総務課長です。お答えいたします。

先ほど環境課長もちょっとお答えしたんですが、事前のごみ袋の配付の周知ということで、クーポン券の配付、また交換の時期よりも前の段階で、4月、5月辺りで市報それからホームページのほうで掲載をするということと、また、引換えをした後の期間中においても漏れなく引換えをしていただくという意味で、定期的にそういった周知を市報等でしていくというふうに考えていきたいと思っております。

○議長（甲斐 裕一君） ほかに。11番、鷺野弘一君。

○議員（11番 鷺野 弘一君） 今回は、低所得者また子育て世帯に関しましては、いろいろな各種補助があったりとか、助成があったりしているわけですが、ごく一般の家庭にする場合に、ごみ袋は本当に正しいのか。それとも竹田市みたいに買い物券、これは地元の商店等をやはり助けるためにちゅう一つの活気をつけるためにやっている政策を持っているところもあります。そういうふうなことは、今回は考えられなかったのか、その辺についてお尋ねします。

○議長（甲斐 裕一君） 財政課長。

○財政課長（大久保 暁君） 財政課長です。お答えをいたします。

プレミアム商品券等のほうの部分についても、今回の中では、一つの議論にはなりました。ただ前回、今年度も1回やっておりますので、そういう部分も踏まえながら、今回は、やはり皆さんに広く行き渡るようなものというふうな形で、ごみ袋を考えた次第でございます。

○議長（甲斐 裕一君） 鷺野弘一君。

○議員（11番 鷺野 弘一君） 広く行き渡るという今のお話の中で、低所得者等にはそういうふうな助成があったりしますが、一般の納税家庭にはそういうのは何もないと。そうしたときに、そういうふうな差という意味ではないですけど、やっぱり、買い物券等の販売をしてみんなに行き渡るようなものを考えたほうがいいんじゃないかちゅうことを言っているんですけど、そういうのは検討されなかったんですか。

○議長（甲斐 裕一君） 財政課長。

○財政課長（大久保 暁君） お答えをします。

プレミアム商品券のほうについては、先の議会等でもやはり買える方については買えるんだけ

れども、買えない方についてもというふうな部分も御意見も頂きました。そういう部分を踏まえながら、やはり今回は、皆さんにお配りをするというふうな形の部分で、こういうふうな形の部分を検討させていただいた次第です。

○議長（甲斐 裕一君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 裕一君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（甲斐 裕一君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これより議案第2号を採決します。本案は原案のとおり決定することに賛成の方の起立を求めます。

〔議員16名中起立14名〕

○議長（甲斐 裕一君） 起立多数です。よって、本案は原案のとおり可決することに決定しました。

○議長（甲斐 裕一君） 以上で、本臨時会の議事日程は全て終了いたしました。

これで令和6年第1回由布市議会臨時会を閉会します。御苦労さまでした。

午前10時35分閉会

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員